

高崎電気館

8・10(土)  
—8・23(金)

令和元年(2019年)

特集  
上映

終戦、

74  
年目の夏。



◎東京裁判

◎壁あつき部屋

◎野火

◎夜と霧

◎ヒロシマ・モナムール〈二十四時間の情事〉

◎陸軍登戸研究所





© 講談社2018

1983年（昭和58年）／日本／4時間37分+途中休憩10分 デジタル上映（2K）

## 東京裁判 4K デジタルリマスター版

戦後日本の進路を運命付けた“東京裁判”こと極東国際軍事裁判をアメリカ国防総省が撮影していた膨大な裁判記録のフィルムをもとに、小林正樹監督が5年の歳月をかけ編集、制作した日本映画史上に残るドキュメンタリーの傑作。昭和から平成そして令和。新たな時代の幕開けに、現代の日本と世界が浮かびあがる4時間37分。

監督 小林正樹

音楽 武満徹

ナレーター  
佐藤慶

特別料金

一般 2,000円

シニア 1,900円

学生・会員 1,800円

高校生以下 1,000円



© 1956 松竹株式会社

1956年（昭和31年）／日本／1時間50分 35mm フィルム上映

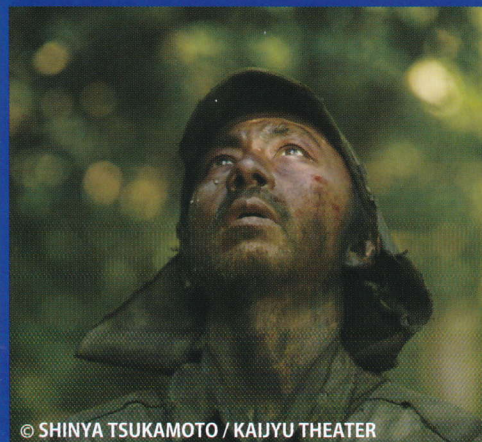
## 壁あつき部屋

無実でありながらBC級戦犯として投獄された戦争犠牲者の実際の手記を安部公房がシナリオ化。従軍し一年に及ぶ捕虜生活も経験した、小林正樹が監督して53年度に完成。当時の対米感情の配慮から公開を見送られ、56年ようやく陽の目をみたという、曰くつきの作品でもある。巣鴨プリズンを完全再現したセットは、歴史的価値あり。

監督 小林正樹

脚本 安部公房

出演 三島耕  
浜田寅彦  
岸恵子  
小沢栄  
伊藤雄之助



© SHINYA TSUKAMOTO / KAIJU THEATER

2014年（平成26年）／日本／1時間27分 デジタル上映

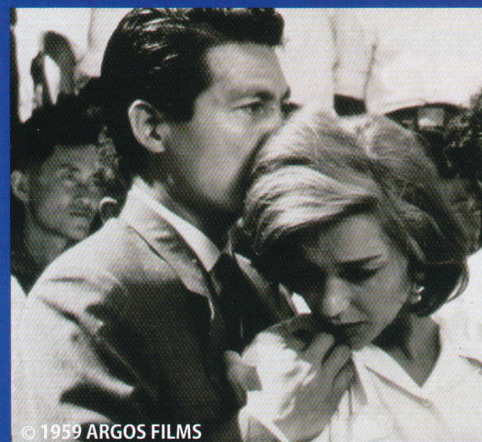
## 野火

日本の敗戦が濃厚になってきた第二次世界大戦末期のフィリピン戦線。結核を患った田村一等兵は部隊を追放され、レイテ島をさまよう。空腹と孤独、そして容赦なく照りつける太陽の熱さと戦いながら、田村が見たものは…。見ている観客が本当の戦場に放り込まれているような錯覚にとらわれる傑作。第30回高崎映画祭最優秀作品賞。

監督 塚本晋也

原作 大岡昇平

出演 塚本晋也  
リリー・フランキー



© 1959 ARGOS FILMS

1959年（昭和34年）／フランス＝日本／1時間31分 35mm フィルム上映

## ヒロシマ・モナムール〈二十四時間の情事〉

戦後の広島を舞台に、映画撮影に訪れた、戦時中ドイツ人を恋人に持ったフランス女優と現地の日本人男性が、悲劇的な戦争の記憶を巡って心を通わせてゆく1日の出来事を詩的に綴る。原爆から復興していく広島を姿をフィルムに捉えた、貴重な映像資料としての性格も大きい。

監督

アラン・レネ

脚本

マルグリット・デュラス

出演

エマニュエル・リヴァ  
岡田英次



©1955 ARCADIS FILMS / COCINOR

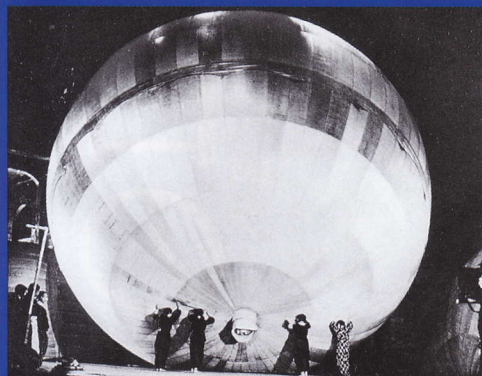
1955年（昭和30年）／フランス／0時間32分 35mm フィルム上映

## 夜と霧

ホロコーストを描いたドキュメンタリー。アウシュビッツ収容所の現在と過去を交錯させ戦争の悲劇を告発した。タイトルは、“夜と霧”に紛れ不都合な存在を消すことを指示したヒトラーの総統命令にちなんでいる。映画評論家アド・キルは「この地上に生きる者はすべて、この映画を見ねばならない。そうすれば、すべてはもう少しよくなるだろう」と評した。

監督 アラン・レネ  
音楽 ハンス・アイスラー  
ナレーター ミシェル・ブーケ

特別料金 800円



©2013「陸軍登戸研究所」製作委員会／アジアディスパッチ

2012年（平成24年）／日本／3時間00分 デジタル上映

## 陸軍登戸研究所

戦前、極秘に進められていた防諜、謀略、秘密兵器の開発の拠点だった陸軍登戸研究所は、敗戦を迎え「証拠湮滅」の命令が下されて歴史から消える。研究員、作業員、風船爆弾の製造の一翼を担われた女学生、陸軍中野学校OBらの今聞いておかなければ抹消されてしまう歴史を、勇気ある証言者たちがカメラの前に立ち、語る、渾身のドキュメンタリー。

監督 楠山忠之

## 「陸軍登戸研究所」とは？

第一次世界大戦に登場した飛行機、戦車、機関銃、毒ガス兵器は戦争のかたちを変えた。日本は遅れまいと直ちに新兵器の研究を開始。諜報、防諜、謀略、宣伝的行為および措置に対応できるよう励んだ。神奈川県川崎市生田の丘陵地に陸軍の電波兵器実験場を設立。この実験場は、正式名称が隠され「登戸研究所」と呼ばれるようになる。優秀な科学者を集め、次々に研究棟を増やし所員も1,000名に及んだ。殺人光線、毒物や爆薬の開発、渡洋爆撃の代案としての風船爆弾、陸軍中野学校（スパイ養成所）と手を組んでのニセ札製造など、多種多様な秘密兵器、謀略兵器が発案されていった。

## 楠山忠之監督トーク

2019年8月18日（日曜日）  
午前10:30の回終了後

楠山忠之プロフィール

1939年東京生まれ。上智大学文学部卒業後、報知新聞社写真部を経て、69年にフリーとして独立。沖縄復帰およびベトナム戦争最後の「サイゴン解放」を現場から報道。国内およびアジアに視点を据えて「写真と文」あるいは映画製作で現地の声を伝えてきた。講師を務める日本映画学校で学生と「陸軍登戸研究所」取材し、記録映画として残すことを決意する。



1955年（昭和30年）／日本／2時間30分 35mm フィルム上映

## ここに泉あり

無料上映

戦争の傷跡が深く残る高崎の地で、市民オーケストラは、働く人や子どもたちに美しい音楽を届けようと奮闘していた。やがて群馬交響楽団へと成長する草創期の実話を高崎市、群馬県の風景の中で描く感動のドラマ。

キネマ旬報ベストテン日本映画第5位。

監督 今井正  
脚本 水木洋子  
出演 岸恵子  
小林桂樹  
岡田英次

特別上映 8/24（土）  
午後1時～無料上映

# 2019年8月10日(土曜日)～8月24日(土曜日) 高崎電気館

8月10日(土)	10:30 ～15:17	東京裁判 (途中休憩10分) ★特別料金	15:45 ～17:35	壁あつき部屋	18:00 ～18:32	夜と霧
8月11日(日)	10:30 ～12:01	ヒロシマ・モナムール 〈二十四時間の情事〉	13:00 ～17:47	東京裁判 (途中休憩10分) ★特別料金		
8月12日(月祝)	10:30 ～15:17	東京裁判 (途中休憩10分) ★特別料金	15:45 ～16:17	夜と霧	16:45 ～18:12	野火
8月13日(火)	10:30 ～12:20	壁あつき部屋	13:00 ～17:47	東京裁判 (途中休憩10分) ★特別料金	18:15 ～18:47	夜と霧
8月14日(水)	10:30 ～15:17	東京裁判 (途中休憩10分) ★特別料金	15:45 ～17:16	ヒロシマ・モナムール 〈二十四時間の情事〉	17:30 ～18:02	夜と霧
8月15日(木)	10:30 ～15:17	東京裁判 (途中休憩10分) ★特別料金	15:45 ～20:32	東京裁判 (途中休憩10分) ★特別料金		
8月16日(金)	10:30 ～15:17	東京裁判 (途中休憩10分) ★特別料金	15:45 ～17:12	野火	19:00 ～20:50	壁あつき部屋
8月17日(土)	10:30 ～15:17	東京裁判 (途中休憩10分) ★特別料金	15:45 ～17:12	野火	17:30 ～19:20	壁あつき部屋
8月18日(日)	10:30 ～13:30	陸軍登戸研究所	14:00 ～14:32	夜と霧	15:00 ～19:47	東京裁判 (途中休憩10分) ★特別料金
8月19日(月)	休映日					
8月20日(火)	10:30 ～12:20	壁あつき部屋	12:45 ～14:16	ヒロシマ・モナムール 〈二十四時間の情事〉	14:45 ～17:45	陸軍登戸研究所
8月21日(水)	10:30 ～15:17	東京裁判 (途中休憩10分) ★特別料金	15:45 ～18:45	陸軍登戸研究所		
8月22日(木)	10:30 ～11:02	夜と霧	11:30 ～14:30	陸軍登戸研究所	15:00 ～16:50	壁あつき部屋
8月23日(金)	10:30 ～12:01	ヒロシマ・モナムール 〈二十四時間の情事〉	12:30 ～17:17	東京裁判 (途中休憩10分) ★特別料金	17:45 ～18:17	夜と霧
8月24日(土)	13:00 ～15:30	ここに泉あり ★無料上映	18:00 ～20:00	怪談ナイト (ショートアニメ+怪談) ★参加無料		

## 『東京裁判』鑑賞料金 (1作品)

一般¥2,000 / 学生¥1,800 / シニア¥1,900 / 障がい者¥1,900  
メンバーズ会員¥1,800 / 高校生以下¥1,000

## 『夜と霧』鑑賞料金 (1作品)

一般¥800 / 学生¥800 / シニア¥800 / 障がい者¥800  
メンバーズ会員¥800 / 高校生以下¥500

## その他の鑑賞料金 (1作品)

一般¥1,000 / 学生¥800 / シニア¥1,000 / 障がい者¥1,000  
メンバーズ会員¥800 / 高校生以下¥500

※『終戦 74年目の夏』共通：駐車場割引(100円)、同日2回目200円割引(高校生以下適用外)



お問い合わせ電話番号：  
**027-395-0483**  
<http://takasaki-denkikan.jp/>